【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成31年1月31日(2019.1.31)

【公表番号】特表2018-502693(P2018-502693A)
【公表日】平成30年2月1日(2018.2.1)
【年通号数】公開・登録公報2018-004
【出願番号】特願2017-557269(P2017-557269)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ　17/70　(2006.01)
Ａ６１Ｂ　17/68　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　17/70
Ａ６１Ｂ　17/68

【手続補正書】
【提出日】平成30年12月13日(2018.12.13)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
椎間関節を治療するためのインプラントであって、
アクセス面および骨対向面を有する固定プレートと、
前記椎間関節に挿入されるように構成されたスペーサと、
前記スペーサと前記固定プレートの骨対向面との間の少なくとも１つのヒンジと、
を備える、インプラント。
【請求項２】
前記スペーサが、ディスクである、請求項１に記載のインプラント。
【請求項３】
前記固定プレートが、複数の穴を有する、請求項１に記載のインプラント。
【請求項４】
前記スペーサが、複数の穴を有する、請求項１に記載のインプラント。
【請求項５】
前記複数の穴のうちの少なくとも１つが、移植片材料を含む、請求項４に記載のインプラント。
【請求項６】
前記少なくとも１つのヒンジが、前記スペーサと前記固定プレートとの間の枢動式の関節および運動を提供する、請求項１に記載のインプラント。
【請求項７】
前記固定プレートが、通過する固定デバイスを受け入れるように構成された少なくとも１つの穴を含む上側部分を含む、請求項１に記載のインプラント。
【請求項８】
前記固定プレートが、通過する固定デバイスを受け入れるように構成された少なくも１つの穴を含む下側部分を含む、請求項７に記載のインプラント。
【請求項９】
前記少なくとも１つのヒンジが、ヒンジの対を備える、請求項１に記載のインプラント。

【請求項１０】
前記インプラントが、前記固定プレートが前記スペーサの下面に対してほぼ平行である低プロファイル構成を含む、請求項１に記載のインプラント。
【請求項１１】
前記固定プレートが、前記スペーサの上面に対してほぼ垂直である第２の構成になるまで回転するように構成された、請求項１０に記載のインプラント。
【請求項１２】
前記スペーサが、通過する固定デバイスを受け入れるように構成された少なくとも１つの穴を含む、請求項１に記載のインプラント。
【請求項１３】
前記固定プレートが、上関節突起に固定されるように構成され、かつ、前記スペーサ内の少なくとも１つの穴が、下関節突起に固定するための固定デバイスを受け入れるように構成された、請求項１２に記載のインプラント。
【請求項１４】
前記固定プレートが、下関節突起に固定されるように構成され、かつ、前記スペーサ内の少なくとも１つの穴が、上関節突起に固定するための固定デバイスを受け入れるように構成された、請求項１２に記載のインプラント。